

陽子一奇事之翌日誌を以て陽子源り来り尚
日影をへ初なるを執りて

由利中八

維平或忠八の事ハ其ハ之毫に注を小麻崎

大社といふ前にいつる赤上神社の事なり但
大の字を加へハ祀者の謠や或は九神
の内大物忌月山神社の外大社なり一古俗
大社小社の訳をきくも社神造の廣大を
をば皆大社と見え来りり亦繼て大社と書
くも古俗の詞は似たりもや山毛た田
未考も福ハ仙山の事

男鹿崎横も似しの内湊にうみあり船城の湊

幅七十間金浦女川海所の湊弘然也一介
麻の湊才一は深一西南の凡は船入よ一
唐弘安西三ヶ所あり中一の林麻の海を
帆石内歸石舞臺石毫野石強石岩屋山岳
橋樑といつるありて見ゆ多一ゆは亦橋と
て廣ハ丁長二十に丁のをなれり

一雄勝郡

河邑郡の南にあり山を以て境とに俗に
水といふ仙山の事一思考才一は毫に記を
雄勝ハ本一ヶ村の名なり